

令和5年度事務事業評価（令和4年度事後評価）

経済部

所属名	事務事業名	
中心市街地振興室	街なか出店伴走支援事業	2
中心市街地振興室	えびすを活かした中心市街地賑わい創出事業	3
中心市街地振興室	銀天夜市開催支援事業	4
中心市街地振興室	バルーンフェスタ・サテライト事業	5
中心市街地振興室	佐賀城下ひなまつり関連商店街活性化事業	6
中心市街地振興室	タウンマネジメント事業推進支援事業	7
中心市街地振興室	戦略的商機等集積支援事業	8
中心市街地振興室	中心市街地機能複合化推進事業	9
中心市街地振興室	ライトファンタジー事業	10
中心市街地振興室	まちづくり支援事業	11
中心市街地振興室	中心市街地通行量調査経費	12
中心市街地振興室	街なか来訪者等動向調査経費	13
中心市街地振興室	未来技術を活用した街なかブランディング事業	14
中心市街地振興室	SAGAまちなかフェス開催事業	15
中心市街地振興室	街なか交流広場管理事業	16
中心市街地振興室	街なか再生計画推進事業	17
中心市街地振興室	中央大通り再生計画推進事業	18
中心市街地振興室	街なかふれあいプラザ管理運営事業	19
中心市街地振興室	文化交流プラザ管理運営事業	20

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	街なか出店伴走支援事業	事業期間	令和 3 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 戦略係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	魅力ある店舗・施設の整備と立地促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中心市街地の空き店舗等を活用する新規出店者を対象として、地元商店街と連携して実施する経営アドバイス会等の取組を支援することにより、経営ノウハウの習得機会等を提供し、店舗経営者の育成及び遊休不動産の活用促進を図る。				
事業の対象者	中心市街地における新規出店者				
令和4年度 主な活動実績	本事業を実施するNPO法人まちづくり機構ユマニテさがに対し、補助を行った。 ・支援実績：1店舗				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額		1,210	1,300		
うち佐賀市の負担額		710	952		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
新規出店者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
	3 1	2 1	2	2		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	出店希望者のニーズに基づき募集方法の見直し等を行ったものの、取組周知が不十分だったこと等により、目標値を下回った。



成果目標達成に向けた対応策等
実施主体と連携して広報の強化を行うとともに、活用可能な遊休不動産の掘り起こし、出店希望者の把握に努め、物件と出店希望者のマッチングを強化していく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	えびすを活かした中心市街地賑わい創出事業	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 再生係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内に840体以上あり、その数日本一と言われている恵比須像を活かした街づくりに向けて、開運さが恵比須ステーションの運営、恵比須巡りツアー、恵比須講座等の実施に要する経費の一部を助成し、街なかの回遊促進を図る。				
事業の対象者	市民、中心市街地内の事業者及び事業者、恵比須DEまちづくりネットワークが実施するまちづくり活動団体				
令和4年度 主な活動実績	開運さが恵比須ステーションの運営、恵比須巡りツアー、恵比須講座等の実施に要する経費の一部を補助した。 ・恵比須ステーション開館日数：305日 ・恵比須ステーション来館者数：7,061人 ・恵比須巡りツアー実施回数、参加者数：23回、292人 ・恵比須講座実施回数、参加者数：12回、277人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	9,000	8,500	8,500		
うち佐賀市の負担額	9,000	8,500	8,500		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
恵比須ステーション来館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,295	2,300 2,185	3,000 7,061	3,500	4,000		

成果指標②						単位
恵比須巡りツアー・恵比須講座への参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
406	550 337	700 569	850	1,000		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	他団体の主催イベントとの連携により、来館者数の増加につなげることができた。一方、恵比須巡りツアー・講座参加者数は、昨年度に比べ大きく増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベントの中止や規模縮小により、目標値は下回った。

成果目標達成に向けた対応策等

引き続き、八十八ヶ所巡りや恵比須ツアーを軸にして、恵比須を活用した他団体との連携等を強化することにより、中心市街地への来街者の増加につなげていく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	銀天夜市開催支援事業	事業期間	昭和 42 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 再生係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中心市街地の振興策として、広く市民に親しまれている夏のイベント「銀天夜市」の開催に要する経費の一部を助成し、来街促進を図る。				
事業の対象者	中心市街地内の商業者及び事業者並びに市民				
令和4年度 主な活動実績	第55回銀天夜市実行委員会に補助金を交付し、補助対象者が行うイベント等の進捗管理を行った。 ・開催実績：4回 ・来場者数：延べ13,842人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	865	865		
うち佐賀市の負担額	0	865	865		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
イベント来場者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	1,000 405	4,000 13,842	5,000	6,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	新型コロナウイルス感染症の蔓延により、いくつかのイベントは中止になったものの、コロナ以前の入出が戻ってきたこと、集客力の高いイベントを実施したこと等により、目標値を達成できた。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、実施主体と連携して、広報等のイベント開催支援を行うことで、来場者数の増加を図り、中心市街地の活性化につなげる。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	バルーンフェスタ・サテライト事業	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 戦略係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀インターナショナルバルーンフェスタの開催に合わせて、中心市街地において、骨董市等の集客イベントの開催、シャトルバスの運行（バルーン会場・東よか干潟）、販促活動等に要する経費の一部を助成し、街なかの回遊促進を図る。				
事業の対象者	中心市街地内の事業者、バルーンフェスタ来場者等（補助対象：バルーンフェスタ・サテライト実行委員会）				
令和4年度 主な活動実績	バルーンフェスタ・サテライト実行委員会に補助金を交付し、骨董市等の集客イベントの開催、シャトルバスの運行（バルーン会場・東よか干潟）、販促活動等の取組を支援した。 ・開催期間：令和4年11月2日（水）～11月6日（日）【5日間】 ・開催場所：中心市街地（656広場、松原神社、エスプラッツ等）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	10,350	10,350		
うち佐賀市の負担額	0	10,350	10,350		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
イベント来場者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	50,000 67,247	50,000 69,347	50,000	55,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	中心市街地とバルーン会場等を巡回するシャトルバスの運行や、回遊性の高いイベントを実施したことにより、来場者数の増加につながった。



成果目標達成に向けた対応策等
ターゲットに訴求できる効果的な広報活動や、魅力的で回遊性を高められるイベント等を充実させることによって、中心市街地への来街を促進し、更なる賑わいを創出していく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀城下ひなまつり関連商店街活性化事業	事業期間	平成 15 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 再生係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀城下ひなまつりの開催に合わせて、中心市街地において、ひな飾り等の設置や骨董市、街なかコンサート等の集客イベントの開催に要する経費の一部を助成し、街なかの回遊促進を図る。				
事業の対象者	佐賀城下ひなまつり開催期間に中心市街地を訪れた市民・中心市街地の商業者及び事業者				
令和4年度 主な活動実績	佐賀城下ひなまつり街なか賑わいづくり実行委員会に補助金を交付し、補助対象者が行うイベント等の進捗管理を行った。 ・開催期間 令和5年2月11日（土・祝）～3月21日（火・祝）【39日間】 ・開催場所 中心市街地（656広場、松原神社、エスプラッツ等）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,210	4,510	6,000		
うち佐賀市の負担額	5,210	4,510	6,000		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
イベント来場者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
44,398	45,000 53,062	50,000 86,233	55,000	60,000	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	佐賀城下ひなまつりが3年ぶりに開催されたことや、集客力の高いイベントを実施したことにより、来場者数の増加につなげることができた。



成果目標達成に向けた対応策等
イベント開催者と協議を行いながら、効果的な集客方法を検討するとともに、イベントへの自主参加を呼びかけることで、期間中の活動量を増やし、来場者の増加を図っていく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	タウンマネジメント事業推進支援事業	事業期間	平成 16 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 戦略係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	NPO法人まちづくり機構ユマニテサの機関運営及び各種事業を支援し、中心市街地の活性化を図る。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和4年度 主な活動実績	NPO法人まちづくり機構ユマニテサの機関運営及び各種事業に係る経費の一部を助成した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	18,000	21,500	19,500		
うち佐賀市の負担額	18,000	21,500	19,500		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
賑わいあふれる中心市街地の活性化に満足している市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
28.4	29.5 31.9	31.5 33.4	33.5	35.5		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	中心市街地の活性化に向けた新たな方策を企画・立案するとともに、官民連携により様々な取組を展開したことにより、満足度の向上につながった。



成果目標達成に向けた対応策等
NPO法人まちづくり機構ユマニテサは中心市街地活性化法に規定する「中心市街地整備推進機構」として指定する唯一の団体であるため、引き続き連携しながら、中心市街地の活性化に取り組んでいく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	戦略的商機能等集積支援事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 戦略係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	魅力ある店舗・施設の整備と立地促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中心市街地において戦略的に商機能の集積を図るため、出店意欲のある事業者の新規参入を促進する事業に係る経費の一部を助成し、遊休不動産の活用促進を図る。				
事業の対象者	中心市街地における新規出店者				
令和4年度 主な活動実績	本事業を実施するNPO法人まちづくり機構ユマニテさがに対し補助を行った。 ・新規出店者数：3店舗				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,476	3,400	4,500		
うち佐賀市の負担額	2,838	2,400	3,500		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
新規出店者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
4	4 2	4 3	4	4		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見え始め、前年度より出店に関する相談件数が増加し、目標値に達しなかったものの、空き店舗物件とのマッチングを図ることができた。



成果目標達成に向けた対応策等
活用可能な遊休不動産の掘り起こしや、出店希望者の把握に努め、物件と出店希望者のマッチングを強化し、4核構想エリア及び中央大通りエリアにおいて、重点的に商機能の集積を図っていく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	中心市街地機能複合化推進事業	事業期間	令和 3 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 戦略係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	魅力ある店舗・施設の整備と立地促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中心市街地において商業だけでなく働く場としての機能を付加するため、オフィス機能の整備費の一部を助成し、遊休不動産の活用促進を図る。				
事業の対象者	事業者等				
令和4年度 主な活動実績	中心市街地において遊休不動産を活用してオフィス機能を整備する事業に対して補助を行った。 ・補助実績：2件				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	-	18	9,000		
うち佐賀市の負担額	-	18	9,000		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
新規開業件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	1 -	1 2	1	1		

成果指標②						単位
オフィス機能整備面積（累計）						m ²
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	100 -	200 177	300	400		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	中心市街地におけるオフィス整備のニーズと遊休不動産のマッチングを図ることができたため、オフィス機能整備面積は目標値に達しなかったものの、新規開業件数は目標を達成した。



成果目標達成に向けた対応策等
多様な働き方のニーズの把握、活用可能な遊休不動産の掘り起こしに努め、商機能の集積との相乗効果により、街なかへの人の流れを創出する。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	ライトファンタジー事業	事業期間	平成 元 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 再生係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中心市街地の活性化に寄与することを目的としたサガ・ライトファンタジー事業の実施に対し補助を行い、来街促進を図る。				
事業の対象者	来街者等				
令和4年度 主な活動実績	シンボルロード約1.2kmを中心にスポット電飾、街路樹電飾、沿線店舗による自主電飾、市民による電飾等の取組及び街なかの回遊性を高めるイベントの実施に対して支援を行った。また、佐賀インターナショナルバルーンフェスタの前夜祭として、ライトファンタジーパレードや中央大通りでのストリートイベントが3年ぶりに開催された。 ・開催期間：令和4年11月1日（火）～令和5年1月9日（月・祝）【70日間】				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	30,000	30,000	35,000		
うち佐賀市の負担額	30,000	30,000	35,000		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
来街者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
29,752	30,000 38,020	35,000 74,912	35,000	40,000	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	パレードやストリートパーティが実施され、街路樹等のイルミネーションの設置方法を工夫し、来街者の確保に努めたことや、新型コロナウイルス感染症による人出への影響が小さくなったことから、目標を大きく上回った。

成果目標達成に向けた対応策等

引き続き、サガ・ライトファンタジー実行委員会と連携し、担い手を増やすとともに魅力ある装飾を実施する。佐賀駅佐賀城口（南口）から中央大通りへの誘客、散策促進を図るため、街路樹電飾の効果的な設置を行う。また、電飾の統一感がとれるよう設置し、中心市街地の活性化に貢献する。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

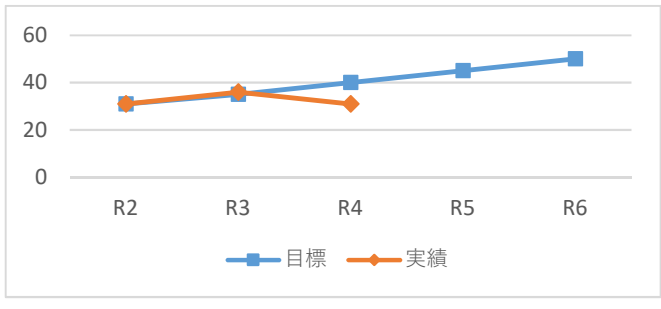
事務事業名	まちづくり支援事業	事業期間	平成 18 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 再生係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

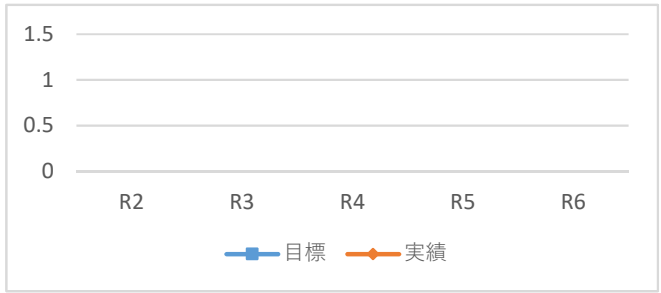
事業概要・目的	街なかを歩くきっかけづくりのためのイベント支援を実施し、中心市街地の活性化を図る。				
事業の対象者	市民				
令和4年度 主な活動実績	中心市街地で行われる様々なイベントに対し、広報等で支援することにより、中心市街地の活性化を図った。 ・広報番組佐賀シティビジョン「街なか通信」を毎月2回放送し、各回1~2団体を紹介				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,481	2,626	4,062		
うち佐賀市の負担額	2,481	2,626	4,062		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
イベント等支援件数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
31	35 36	40 31	45	50		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	「街なか通信」において、ひとつひとつのイベント等を時間を取って取り上げていったため、支援件数としての目標値を下回った。



成果目標達成に向けた対応策等
「街なか通信」の放送内容を工夫するとともに、引き続きNPO法人まちづくり機構ユマニテさが等と連携しながら、中心市街地各所でまちづくりを行う者を支援し、情報発信等を行うことで来街者の増加に努め、中心市街地の活性化を図る。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	中心市街地通行量調査経費	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 戦略係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中心市街地活性化事業の効果測定のため、中心市街地における歩行者通行量調査を実施する。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和4年度 主な活動実績	中心市街地において歩行者等の通行量調査を実施した。 ・調査期間：令和4年7月28日（木）～7月31日（日） [4日間] ・調査地点：中心市街地の14か所				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,126	1,392	714		
うち佐賀市の負担額	1,126	1,392	714		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
主要商店街通行量					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
46,780	85,000 51,607	90,000 52,168	95,000	100,000	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	前年度に比べ通行量は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響等により、依然として外出自粛傾向が続いたため、目標値を下回った。



成果目標達成に向けた対応策等
本事業の調査結果を基に、中心市街地活性化事業の効果検証を行い、来街促進に向けて、より効果的な方策を企画・立案し、実施していく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	街なか来訪者等動向調査経費	事業期間	令和 元 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 戦略係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	街なかの店舗情報等を掲載したWEBサイト（サガマチ・ランデブー）を構築・運用し、来街者向けのWEBアンケート調査や街なかクーポン事業を実施し、街なか回遊と消費行動の促進を図る。また、中心市街地にWi-Fiセンサーを設置し、デジタル技術を活用して来街者の回遊状況を調査する。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和4年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・WEBサイト「サガマチ・ランデブー」において、来街者アンケート調査や街なかクーポン事業を実施した。会員登録者数：4,524人、WEBサイト閲覧者数：28,964人、WEBアンケート回答者数：1,111人、街なかクーポン利用者数：3,476人、WEBサイト掲載店舗数：149店舗 ・常時稼働のWi-Fiセンサーにより、来街者の回遊状況（推計通行者数、滞在時間の傾向等）を調査した。調査期間：令和4年7月19日（火）～11月30日（水）、調査地点：7か所 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,440	8,827	11,342		
うち佐賀市の負担額	1,850	4,904	6,540		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
WEBサイト閲覧者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
9,313	11,500 21,958	13,000 28,964	14,000	15,000	

成果指標②					単位
主要商店街通行量					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
46,780	85,000 51,607	90,000 52,168	95,000	100,000	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	サガマチ・ランデブーの広報強化（動画制作、SNS広告等）により、サイト閲覧者数が増加し、目標を達成できた。一方、通行量は前年度に比べ増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響等により、依然として外出自粛傾向が続いたため、目標値を下回った。

成果目標達成に向けた対応策等

中心市街地の人流データを各種データ等と組み合わせて分析することにより、来街者が複数拠点（店舗、スポット等）を回遊する仕組みを充実させるとともに、街なかの店舗に分析データを還元して経営に活用してもらうことで、来街者ニーズに適應できる機会を創出し、街なかの魅力を引き上げ、来街と回遊・消費行動を一層促進していく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	未来技術を活用した街なかブランディング事業	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 戦略係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	街なか再生の基盤整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	来街者のニーズに適切し、多様な人の流れ（回遊・消費行動）を創出する「スマート街なか」の実現に向けて、佐賀市街なか未来技術活用モデルプラン（令和3年度策定）に基づき、中心市街地においてデジタル技術活用による実証プロジェクトを展開する。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和4年度主な活動実績	中心市街地においてデジタル技術活用による実証プロジェクトを展開した。 ・多機能型情報メディアの構築・運用（設置箇所：中央大通り沿線3基、佐賀駅バスセンター3基） ・市民参加型ワークショップの開催（開催回数：10回、参加者数：延べ220人） ・SAGAスマート街なかプロジェクトアクションプログラムの策定（令和5年3月）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	26,857	32,893		
うち佐賀市の負担額	0	13,029	16,447		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
賑わいあふれる中心市街地の活性化に満足している市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
28.4	29.5 31.9	31.5 33.4	33.5	35.5		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	多機能型情報メディアによる街なか情報配信や市民参加型ワークショップの開催等をもって、市民や事業者の興味関心を高めたことで、中心市街地の賑わい創出に向けた期待値が高まり、満足度の向上につながった。



成果目標達成に向けた対応策等
デジタル技術を活用した取組は、街なかへの多様な人の流れを創出する上で、実情に応じた最適解を提供できる有効な手段となり得るため、来街者のニーズに適切する方策を官民連携により見出すとともに、取得し蓄積したデータや、適応策等を中心市街地の事業者等に還元し、経営に活用してもらうことによって、中心市街地全体としての効果的な需要の取込みを図る。

令和5年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	SAGAまちなかフェス開催事業	事業期間	令和4～令和4年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 再生係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	賑わい創出の支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	中心市街地の賑わい創出に向けて、新しい生活様式に対応したイベントを開催し、街なかの回遊促進を図る。 ・SAGAまちなかフェスinスポテン開催事業【令和4年11月23日（水・祝）】 スポテン佐賀2022の開催に合わせ、地元飲食店協力の下、キッチンカーや屋台の飲食ブースを設置した。 ・SAGA×FES（サガバイフェス）開催事業【令和5年1月29日（日）】 NHK佐賀放送局が計画するイベントに合わせて開催し、ステージイベントや飲食イベントを実施した。				
事業の対象者	来街者等				
根拠法令等	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額			12,877		
うち佐賀市の負担額			0		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
来場者数					人	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
		5,677				
活動実績②					単位	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

新型コロナウイルス感染症の影響がある中、感染症対策を講じながら新しい生活様式に対応したイベントを開催できた。他のイベントと共同開催し、集客の相乗効果を高めることに努め、地元飲食店の協力を得ることで、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食業の下支えをすることができた。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	街なか交流広場管理事業	事業期間	平成 22 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 再生係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	街なか再生の基盤整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	街なか交流広場の管理を行い、中心市街地の活性化を図る。				
事業の対象者	来街者等				
令和4年度 主な活動実績	街なか交流広場の適正な管理を行うとともに、人々に憩いと交流の場を提供することにより、中心市街地の活性化を図った。 ・催事数：234回 ・利用者数：26,671人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,768	3,021	3,427		
うち佐賀市の負担額	3,768	3,021	3,427		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
街なか交流広場利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
12,797	13,000 15,391	25,000 26,671	30,000	35,000	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、利用促進広報及びイベント情報の発信を行うことができ、利用者数の増加につなげることができた。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、指定管理者と連携し、利用者の意見の反映や設備改修等を実施しながら、利便性の向上を図り、利用者の増加につなげていく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	街なか再生計画推進事業	事業期間	平成 23 ~	年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 戦略係	担当課長名	藤田 泰浩	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化		
	基本事業	街なか再生の基盤整備		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市街なか再生計画（平成22年度策定）に基づき、エスプラッツ、佐賀玉屋、佐嘉神社・徴古館、呉服元町・柳町の4核を中心として、街なかを人々が回遊できる方策としてのわいわい！！コンテナ2管理事業、新馬場通り活性化事業、遊休不動産活用促進事業を実施するとともに、まちゼミの開催に係る経費の一部を助成し、中心市街地の活性化を図る。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・わいわい！！コンテナ2管理事業 [開館日数] 301日間 [来館者数] 54,456人 ・新馬場通り活性化事業 [イベント開催数] 12件23回 ・遊休不動産活用促進事業 [街なか空き店舗・出店相談室] 相談対応数：117件、活用物件数：12件 [さが街なか空き店舗見学会] 開催回数：5回、見学店舗数：延べ36か所、参加者数：延べ47人 [遊休不動産活用促進利子助成] 助成件数：4件 ・まちゼミ事業 [参加店舗数] 13店舗 [開催講座数] 26講座 [受講者数] 240人 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	21,587	20,945	20,767		
うち佐賀市の負担額	19,137	17,146	18,217		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
賑わいあふれる中心市街地の活性化に満足している市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
28.4	29.5 31.9	31.5 33.4	33.5	35.5		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	遊休不動産の活用促進に向けた取組の周知を強化するとともに、回遊の方策を展開したことにより、中心市街地の賑わい創出に向けた期待値が高まり、満足度の向上につながった。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、来街者の回遊性の向上や中心市街地の賑わい創出に寄与するような仕掛けづくりを行うとともに、先進地の事例研究等により、段階的に民間事業者に移行させていく仕組みを検討していく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	中央大通り再生計画推進事業	事業期間	平成 27 ~	年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 戦略係	担当課長名	藤田 泰浩	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化		
	基本事業	街なか再生の基盤整備		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	令和3年度に策定した中央大通り沿線の将来像や土地利用方針の実現に向けて、民間投資の各フェーズに対応できる「佐賀モデルのパッケージ型・民間投資喚起策」を運用するとともに、中央大通りに関する民間主体のイベント等の開催支援を行い、中心市街地の活性化を図る。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・民間投資喚起策 <ul style="list-style-type: none"> [潜在期] 中央大通り土地利用促進適地調査事業：支援実績2件 [計画期] 中央大通り土地利用プランニング支援事業：補助実績3件 [整備期] 中央大通り土地利用リニューアル支援事業：認定実績2件、補助実績1件（うち解体1件） [運営期] 中央大通り「さがすたいるプラス」推進事業：補助実績6件 ・プロモーション動画の制作等（動画制作、デジタルサイネージ・SNS広告等を活用したプロモーション） ・中央大通り賑わい創出活動支援事業（開催イベント数：4件、イベント参加者数：1,878人） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,391	12,554	18,954		
うち佐賀市の負担額	1,396	2,277	5,436		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
賑わいあふれる中心市街地の活性化に満足している市民の割合						%
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標		
28.4	29.5	31.5	33.5	35.5		
	31.9	33.4				

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	中央大通り沿線の将来像や土地利用方針について、様々な主体の認知度・関心を高めるプロモーションを強化し、民間投資喚起策の活用実績につなげたことにより、中心市街地の賑わい創出に向けた期待値が高まり、満足度の向上につながった。

成果目標達成に向けた対応策等

中央大通り沿線の将来像や土地利用方針の実現に向けて、民間投資の各フェーズに対応できる「佐賀モデルのパッケージ型・民間投資喚起策」等の更なる制度周知を図ることにより、制度活用を促進し、中央大通りに更なる人の流れを生み出す。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	街なかふれあいプラザ管理運営事業	事業期間	平成 19 ~	年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 再生係	担当課長名	藤田 泰浩	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化		
	基本事業	街なか再生の基盤整備		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	「街づくり基点施設」であるエスプラッツの街なかふれあいプラザ（1、2階）について、指定管理者を選定し、施設管理、テナント誘致及び集客力向上に取り組むとともに、老朽化した館内設備を改修し、施設の利便性を向上させることによって、中心市街地居住者及びオフィスワーカー等の利便性の向上や、新たな来街者の創出を図り、中心市街地の活性化に資する。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和4年度主な活動実績	佐賀市街なかふれあいプラザの管理運営を行うとともに、指定管理者と共に様々なイベントに取り組み、エスプラッツの賑わい創出を行った。 ・令和4年度街なかふれあいプラザ入場者数：801,435人（対前年度比0.2%増） ・指定管理者：株式会社ミズ				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	57,237	57,363	69,051		
うち佐賀市の負担額	57,237	57,363	69,051		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
街なかふれあいプラザの1日平均利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,464	3,150 2,276	3,250 2,357	3,350	3,450		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	前年度に比べ利用者数は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響による外出機会の減少等の理由により、目標値を下回った。



成果目標達成に向けた対応策等
利用者数の増加に向けて、指定管理者と連携しながら、管理運営への利用者の意見の反映、施設内設備の計画的な改修による利便性の向上、中心市街地で実施される他の取組と連携した事業展開を図っていく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	文化交流プラザ管理運営事業	事業期間	平成 19 ~ 年度
担当部署・係名	中心市街地振興室 再生係	担当課長名	藤田 泰浩
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	03賑わいあふれる中心市街地の活性化	
	基本事業	街なか再生の基盤整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	「街づくり基点施設」であるエスプラッツの文化交流プラザ（3階）について、指定管理者を選定し、施設管理及び集客力向上に取り組むとともに、耐用年数を経過した機器等について計画的に更新を行うことで、中心市街地居住者等の利便性の向上や、新たな来街者の創出を図り、中心市街地の活性化に資する。				
事業の対象者	市民、来街者等				
令和4年度 主な活動実績	佐賀市文化交流プラザの管理運営を行うとともに、指定管理者と共に様々なイベントに取り組み、エスプラッツの賑わい創出を行った。 ・令和4年度交流センター入場者数：29,596人（対前年度比18.1%増） ・指定管理者：株式会社佐賀新聞文化センター				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	74,399	70,078	72,569		
うち佐賀市の負担額	60,695	56,442	62,756		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
文化交流プラザの1日平均利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
60	140 70	160 82	180	200		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	前年度に比べ利用者数は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響による外出機会の減少等の理由により、目標値を下回った。



成果目標達成に向けた対応策等
利用者数の増加に向けて、指定管理者と連携しながら、管理運営への利用者の意見の反映、施設内設備の計画的な改修による利便性の向上、中心市街地で実施される他の取組と連携した事業展開を図っていく。